

15分院内勉強会

ヒヤリ・ハットを責めずに共有する



今日の目的

小さな気づきを早めに共有し、同じことが起きにくい仕組みをチームで考えます。

共有するときの3つの基本

1 事実を短く伝える



いつ・どこで・何が起きたかを、推測や批判を加えずに伝えます。

2 現在の状況を確認する



対応済みのことと、まだ確認が必要なことを分けます。

3 迷ったら早めに報告する



自分だけで判断せず、院内で決めた報告先へ確認します。

伝え方の例



診療室で準備物の違いに気づき、使用前に止めました。
現在は正しい物へ交換済みです。
保管場所の表示を確認したいです。

大切な考え方



誰が悪いかではなく、なぜ起きたか、どうすれば気づきやすくなるかを考えます。

○×確認テスト

- | | | |
|---|-----------------------|---|
| 1 | 事故が起きていなければ共有しなくてもよい。 | × |
| 2 | 事実と推測を分けて伝える。 | ○ |
| 3 | 迷ったときは院内の報告先へ確認する。 | ○ |

明日からの3つのチェック



☐ 事実を短くメモ



☐ 状況と未確認事項を分ける



☐ 報告先へ早めに伝える



報告先・記録方法・医療安全上の対応は、自院の正式ルールへ置き換えてください。